

2 地域連携プロジェクト

地域連携
プロジェクト

=

教員
プロジェクト

+

学生
プロジェクト

参加学生総数

255
(昨年度 243)

地域連携プロジェクトには大きく、教員が主導する「教員プロジェクト」と学生団体が主導する「学生プロジェクト」があります。両プロジェクト合わせて、255名の学生が地域連携活動に従事しています。

右図にあるように、多くは学生プロジェクトに所属しており（67.8%）、両プロジェクトに参加する学生も存在します（6.7%）。また、地域連携プロジェクトに参画する学生の学年をみると、1回生（32.5%）、3回生（31.0%）、2回生（29.0%）の順に多くみられます。

教員プロジェクト

プロジェクト数

9
(昨年度 8)

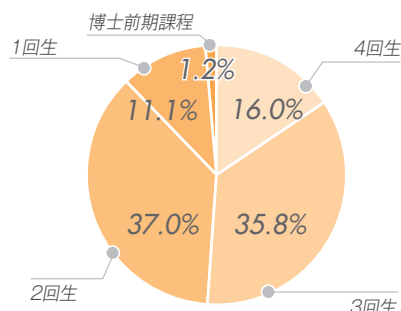
活動のキーワードとしては、建築や地域創生、高齢者、ラオス、里山などがみられ、環境人間学部が多様性が確認されます。主なフィールドは、姫路市近辺の他、淡路島や丹波篠山市といった兵庫県下の他、海外もみられます。

参加学生数

81
(昨年度 69)

参加学生は81名であり、右図にあるように入学年度ごとにみると、2回生（37.0%）や、3回生（35.8%）が多い傾向がみられます。

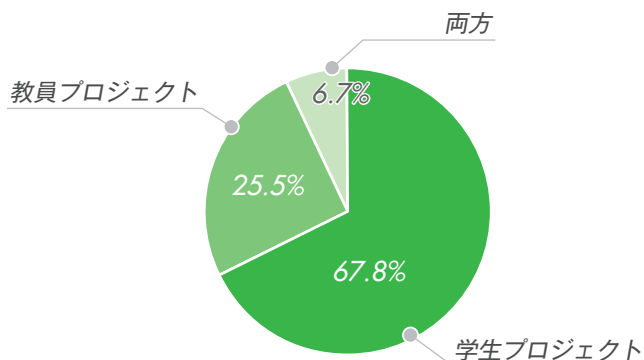
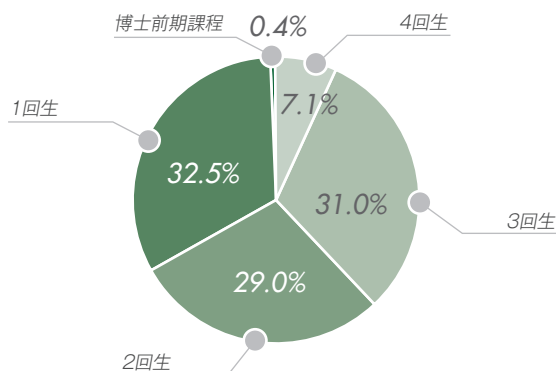
教員プロジェクトにおける
入学年度ごとの学生数（n=81）



教員プロジェクト一覧

プロジェクト名	教員	キーワード	フィールド	メンバー数
淡路島プロジェクト	三田村哲哉	建築、都市、地域	淡路島	5
播磨プランニングラボ	太田尚孝	都市計画、計画演習、自治体連携	高砂市他	7
くもべラボ	杉山武志	地域創生、コミュニティ・カフェ、閉校活用	丹波篠山市	9
北八代プロジェクト	安枝英俊	集会所、半屋外空間、居場所づくり	姫路市	9
学生島活プロジェクト	太田尚孝	地域創生、空き家再生、インターンシップ	姫路市（家島諸島）	8
学生国際協力団体 CHISE	乾美紀	ラオス山岳地帯、学校建設、教育支援	ラオス	19
ため池みらいプロジェクト	柴崎浩平	水・農業、里山、コミュニティ・ビジネス	東播磨	21
草刈りエクササイズ	森寿仁、柴崎浩平	草刈り、エクササイズ、農村	加古川市他	3
こどもみどりプロジェクト	柴崎浩平	小学校、農業体験、食育	姫路市	9

所属プロジェクトごとの学生数（人）（n=255）

地域連携プロジェクトにおける
入学年度ごとの学生数（人）（n=255）

学生プロジェクト

プロジェクト数
(学生団体数)

11

(昨年度 7)

活動内容のキーワードとしては、農業、食、栄養、里山、国内外の子どもなどみられ、環境人間学部が多様さが確認されます。

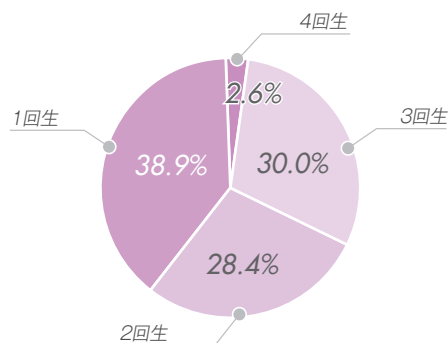
主なフィールドとしては、姫路市その他、明石市や加古川市、高砂市など姫路市から東のエリアが中心となっています。

参加学生数

190

(昨年度 188)

参加学生はのべ 190 名であり、右図にあるように入学年度ごとにみると、1 回生 (38.9%)、3 回生 (30.0%)、2 回生 (28.4%) の順に多くみられます。

学生プロジェクトにおける
入学年度ごとの学生数（n=190）

学生プロジェクト一覧

団体名	顧問教員	キーワード	フィールド	メンバー数
農楽部 畑っこ	坂本薫 柴崎浩平	農業、多世代交流、地域交流	環境人間キャンパス内の畑	15
campustree	安枝英俊	キャンドル、地域交流、コミュニケーション	高砂市など	23
Change	三宅康成	子ども、地域交流、イベント企画	姫路市、明石市、高砂市	41
木くらげ	荘所直哉	里山、地域、学生	里山（姫路市香寺町須加院）	31
兵庫商品開発プロジェクト DEN	坂本薫	食、農、栄養	学内、姫路市	51
conneko- コネコ -	保坂裕子	子ども食堂、学習支援、ボランティア	明石市、高砂市、加古川市	26
Jyoto's	乾美紀	外国ルーツの子ども、学習支援、地域ネットワーク	姫路市城東町	11
+ art プロジェクト	柴崎浩平	アート、デザイン、地域交流	姫路市、加古川市	12
地域連携 café ルリアン	柴崎浩平	場づくり、学生間交流、インキュベート	学内	5
広尾東ファンクラブ	柴崎浩平	農村、地域活性化、コミュニティ	加古川市	3
山採りみらいグループ	柴崎浩平	里山活用、コミュニティ・ビジネス、山採り	加古川市	3

2024 年度に誕生した 地域連携プロジェクト

本年度は、教員・学生プロジェクトともに増加傾向にありました。右にあるように、教員プロジェクトは 1 つ、学生プロジェクトは 4 つ増えました。本ページでは、新しく生まれた地域連携プロジェクトを紹介します。

地域連携プロジェクト 増加数

教員プロジェクト

1

学生プロジェクト

4

(教員プロジェクト)

こどもみらいプロジェクト

代表 : 湯木喜久 (2 回生)
連携先: 姫路市立白鷺小中学校
顧問 : 柴崎浩平

小学校の校内で、小学生と共に野菜づくりをおこない、食育活動をおこなっています。白鷺小中学校の敷地内に畑を設けており、種まきや雑草抜き、間引き、収穫などの作業をおこなっています。また、小学生同士の交流イベントを企画・開催しています。



(学生プロジェクト)

地域連携 café ルリアン

代表 : 門傳みこ (4 回生)
連携先: 学内の各種団体
顧問 : 柴崎浩平

新たな地域連携活動のインキュベートや、地域連携活動に関して学生が望む場を創造することを目的としています。地域連携活動に興味を抱く学生が気軽に集い、情報共有や互いの活動のサポート、さらには学生が望む企画や新しい連携プロジェクトが生まれるようなきっかけを作っていきたいと考えています。



(学生プロジェクト)

+ art プロジェクト

代表 : 河村咲季 (3 回生)

連携先: しろみエール 他

顧問 : 柴崎浩平

様々な美術分野に関心のある学生が地域イベントに参加し、アートで地域を盛り上げることを目的としています。地域コミュニティとの結びつきを強化し、芸術の力で地域の魅力を引き出せたらと考えています。具体的には、姫路城マラソンのランナーを応援する横断幕の製作や、農村集落でのイベントの際にアート作品を展示したりしています。



(学生プロジェクト)

広尾東ファンクラブ

代表 : 山本春香 (2 回生)

連携先: 加古川市 広尾東町内会

顧問 : 柴崎浩平

2023、2024 年度の特別フィールドワーク「ため池アクション!」にて、広尾東で活動してきたメンバーを中心に結成しました。これまで、地元産綿実油のマヨネーズ「綿(わた)マヨ」の商品化(クラウドファンディングの実施)、「コスモス祭り」などの地域交流イベントへの参加、農作業体験、地域と学生の架け橋となる「村民票」の作成、公民館で宿泊できる仕組みづくりなどを行ってきました。



(学生プロジェクト)

山採りみらいグループ

代表 : 大塚希美 (3 回生)

連携先: 広尾東町内会、
リビングソイル研究所

顧問 : 柴崎浩平

かつて里山は農村でのライフスタイルに欠かせないものでした。しかし里山は利用されなくなり、結果として多くの里山では荒廃が進んでいます。そこで、里山資源を現在のライフスタイルに合った形で活用し、里山の荒廃を防ぐとともに里山の価値を向上させる取り組みをおこなっています。



地域連携プロジェクトへのサポート

ネットワーキング

学生団体間および学内外のネットワークを確保・強化すべく、新入生歓迎会やEHC交流会、EHCランチを学生と企画・実施するとともに、オープンキャンパス等の各種イベントにEHCとして出展しました。

独自保険制度

多様な地域活動を安全・安心に実施するため、保険体制をみなおし、新たな保険に加入する仕組みを構築しました。

学生が集う場づくり ～学生団体「地域連携 café ルリアン」との連携～

今年度新たに立ち上がった、学生団体「地域連携 café ルリアン」と連携し、学生が集う場づくりをおこないました。大きくは、① EHC 学生交流会～新たになに立ち上がった学生団体の歓迎会～、②③地域プレイヤープレゼン大会、をおこないました。いずれも「こういう場があればいいな」という学生の思いを形にしました。

① EHC 学生交流会～新たになに立ち上がった学生団体の歓迎会～

今年度、新しくできた学生団体の歓迎および今後の活動に関する意見交換をおこないました。他団体の活動に気軽に参加できるようにしたい、他団体と繋がってイベント等を実施したい、先輩と繋がって履修登録やゼミのことを聞きたいなどの意見が聞かれました。



2024.9.19 当日の様子 @EHC

② 建築・まちづくりに関心のある学生の交流・相談会

建築・まちづくりに関心のある学生を対象に、ゼミ選択や就職活動、研究活動、地域連携活動について、先輩に相談する機会を設けました。安枝・太田ゼミの3,4回生に協力していただき、参加者は10名ほどでした。学生からは、今後もこういう機会を作っていきたいという声も聞かれました。



2024.12.19 当日の様子 @EHC

先述のプロジェクトを遂行するとともに、活動しやすい環境を整えるべく、各種サポートをおこないました。

コンペの開催

地域連携プロジェクトの活動を拡充させるため、コンペティション形式にて活動助成をおこないました。審査の結果、5つの教員・学生プロジェクトを助成しました。

EHC の開放

EHC を開放し、学生が打ち合わせ等に使用できるよう、開放するようにしました（予約制）。

③ 地域プレイヤープレゼン大会

学生と活動を展開していきたいという思いを持つ地域プレイヤーにプレゼンして頂き、学生とのマッチングを図る機会も企画・実施しました。本イベントを通して、マッチングがなされたケースも生み出されました。



**地域プレイヤー
プレゼン大会 vol.1**

2024.11.26 (火)
16:00~18:00 @ O101

1. 2部のみ参加でもOK!!

【第1部】
16:00~ 開会・趣意説明
16:10~ 地域プレイヤーによるプレゼン
17:20 終了

【第2部】
17:30~ 交流タイム @EHC
席をつなぎながら地域プレイヤーと交流しましょう！

プレゼンA
障害者の新たな仕事づくり・放置竹林問題の解決
田中敬香/佐野あゆみ/佐々木あかり/高木あかり/株式会社ayudeco

プレゼンB
庭木の地産地消の仕組みづくり・里山の活用
向田勤三郎/山崎りプロジェクト/大塚明典/環境人間学部2回生

こんな学生求めています！

- ・有償インターンがしたい（現場や神戸市との調整、企画・報告書の作成など。派遣免許必須）
- ・自然資源を活用した商品開発をしたい。
- ・遊歩や緑道と話を進めながら庭を作りたい。
- ・行政職員とともにプロジェクトを実施したい。
- ・アルバイトに飽きた、自分で稼ぐ仕組みを作りたい。

主催 環境人間学部エコ・ヒューマン地域連携センター、地域連携cafe ルリアン
写真 上：里山植物を活用しているcafeの発芽。 中左：竹炭の作りと竹を活用した商品 中右：里山植物を収蔵している様子

学生団体を対象とした説明会の開催

2024.12.10@ 環境人間キャンパス

各団体が代替わりをおこない、新しい体制に移行する時期に、地域連携活動をおこなうにあたっての注意点等に関する説明会を開催しました。具体的には、地域連携活動や EHC、学生団体とは、といった基礎的な情報の共有や学生団体の認定方法、活動の許可申請の方法、活動助成メニュー、保険制度について説明しました。また、それらを資料にまとめ、学生に配布しました。



春フェスの開催

新入生を地域連携プロジェクトへ歓迎するため、「春フェス」を開催しました。本「春フェス」は、学生が春フェス実行委員を立ち上げ、企画・実施いたしました。当日は、食に関する学生団体による軽食の提供などをおこない、100 名以上の学生が参加しました。

学生が重なる!! 地域が変わる!!

春フェス

1年生はもちろん、2・3年生も新たに何かはじめてみたい人にチャンス!

2024 5.9 (木) 12:10 ~ 12:50

EHC(エコ・ヒューマン地域連携センター)には、地域連携活動に関わる学生団体が多く存在しており、今回は9つの団体が参加します! 直連団体の学生達とお話ができる機会なので、是非、地域連携活動に関心のある学生は気軽に参加してみてください。先着とランチしながら、地域連携活動だけでなく学生生活についても楽しくお話しできる機会です!

参加団体: 木の芽、Campusree、ココロ、Jyotei's、Change、CHISE、DEN、ほっぺ、たのしみいびりプロジェクト
その他、卒業生からスタートする学生団体も!

学生団体畑っことDENが! かしわ汁を販売!

場所: 環境人間キャンパスQ 駅前広場

EHCのSNSアカウントもぜひみてね!

主催: 春フェス実行委員会(環境人間キャンパスQ学生、内記、環境人間キャンパスQ学生、環境人間キャンパスQ学生、環境人間キャンパスQ学生)



コンペの開催

活動助成の対象として、大きく2つの部門を設けました。① EHC 教員プロジェクト部門、② EHC 学生プロジェクト部門。採択された地域連携プロジェクトは以下の通りです。各プロジェクトの詳しい内容は、本報告書に記載しております。なお、()内は顧問ないし担当教員を意味します。

① EHC 教員プロジェクト部門

学生国際協力団体 CHISE (乾美紀)
北八代プロジェクト (安枝英俊)
学生島活プロジェクト (太田尚孝)
草刈りエクササイズ (森寿仁)

② EHC 学生プロジェクト部門

conneko- コネコ- (保坂裕子)
+ art プロジェクト (柴崎浩平)
Jyoto's (乾美紀)



学生島活プロジェクトの活動の様子



Jyoto's の活動の様子

外部組織と連携したボランティア活動のプラットフォームづくり

子どもを核としたまちづくりを進める明石市で新たに誕生した「公益財団法人こども財団」と連携した取り組みをおこなっています。明石市では全28小学校区において、こども食堂が展開されており、地域のさまざまな方が集まり、子どもたちが地域とつながる居場所づくりがなされています。

「こども財団」と連携し、学生がこども食堂等でボランティア活動が展開しやすくなるよう、プラットフォームづくりに取り組んできました。具体的には、学生団体の「conneko- コネコ-」と「Change」が、当プラットフォームを利用し、ボランティア活動に従事しています。

